

## 支援プログラム

作成日 令和 6年 10月 3日

法人理念		療教育®とは、「療育」と「教育」の両方の視点から子どもたちをサポートしていく、私たちのこだわりです。 「癒し・教え・育ち合う」の3本を柱とし、心そして魂の解放を目指した関わりを遂げた上でそれぞれの自立（自律）に必要な学びを行なっていきます。	
支援方針		生涯、自らの命を輝かせて生きる を目的に、自己肯定感の取り戻し、そして自己重要感につながる思考が備わるような関わりを意識して、さまざまな活動や療育・教育の提供をしていきます。（自己認識・自己規律、他者への気付き・対人関係、責任ある意思決定）	
営業時間		平日 … 10:00～19:00 学校休校日 9:00～17:00 ※全日、早朝・延長サービスあり	送迎実施の有無 有り
支援内容			
本人 支援	健康・生活	来所時の視診・検温 / 個別のスケジュールの組み立て・操作 / イヤーマフ・デジタル耳栓などの活用 / システムの活用 / ストレスコーピングの学習・応用 基本的な生活習慣習得のための訓練（髭剃り、入浴支援含む） / 避難訓練	
	運動・感覚	筋カトレーニング / 感覚統合のトレーニング / 作業療法士が作成した計画に基づいた微細運動訓練	
	認知・行動	環境整備 / 物理的構造化の徹底 / コグトレの学習 / アサーショントレーニング / ESDM をモデルとした関わり / 体と心のマナーブックの学習 / 生活自立に向けてのワーク（お金、健康管理、持ち物管理、時間管理、公共マナー、情報リテラシー、働く時の言い回し）	
	言語 コミュニケーション	問題解決シートの活用（認知行動療法） / 各療育カードを使用した個別課題 / 気持ちの理解のワーク / 相手とのやり取りのワーク / 集団でのふるまいのワーク 会話や協力のゲーム	
	人間関係 社会性	SST（ソーシャルスキルトレーニング）の学習と般化への取り組み / セカンドステップの学習と般化への取り組み / アンガーマネージメントの学習 / こども六法の学習	
家族支援		連絡帳や送迎時の保護者との関わりの中から、日常の様子を把握し少しの変化があれば保護者や職員同士連携し確認、連絡。必要であれば他機関への周知や会議の開催へ。	移行支援 保護者や本人の意向を大切にしながら、現在の発達の評価と将来を想定した支援を行います。また、よりスムーズな移行が叶うように他機関との連携を構築します。
地域支援・地域連携		町や学校、相談支援事業所との定期的な連携（会議、訪問）を行い、情報の共有や各機関の役割を分担、具体的な支援を策定。必要であれば支援センターへの援助を要請する。	職員の質の向上 毎日2回のミーティングにおける子供の状況把握、月に1度の職員会議、内部研修。適宜外部研修参加。年に2度の個別面談による内部監査。
主な行事など		季節の製作 / クリーン作戦 / ピクニック / JR 乗車体験 / セタ祭り / 焼肉パーティー / 流しそうめん / 海水浴 / mana まつり / 芋掘り体験 / お月見会 / 歩け歩け運動 / ハロウィンパーティー / 消防署見学 / 外出レク / クリスマス会 / 大掃除大会 / 映画鑑賞会 / 屋台屋さんごっこ / 節分会 / 雪中宝探し / ひな祭り会 / 進級おめでとう会 ※上記行事参加または運営	